



愛媛県報

発行 愛媛県

平成27年11月10日火曜日 第2723号

◇ 目 次 ◇ 告 示

瀬戸内海環境保全特別措置法第5条による特定施設の設置の許可申請の概要（2件）.....（東予地方局環境保全課）...1128
 道路の区域変更（県道大島環状線）.....（東予地方局今治土木事務所）...1132
 指定道路の指定.....（中予地方局建築指導課）...1133
 道路の区域変更（県道小田河辺大洲線）.....（南予地方局大洲土木事務所）...1133
 道路の供用開始（ " ）.....（ " ）...1133

告 示

○愛媛県告示第1339号

次のように瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号。以下「法」という。）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があった。

なお、法第5条第3項に規定する書面は、愛媛県西条保健所及び新居浜市役所において告示の日から3週間公衆の縦覧に供する。

平成27年11月10日

愛媛県西条保健所長 武 方 誠 二

1 申請者の名称、住所及びその代表者の氏名

住友化学株式会社
東京都中央区新川二丁目27番1号
代表取締役社長 十倉 雅和

2 事業場の名称及び所在地

住友化学株式会社愛媛工場新居浜地区
新居浜市惣開町5番1号

3 特定施設に関する事項

(1) T - 3401（分離塔）

| | | |
|-----------------------|---|------------------------|
| 特定施設の種類 | 水質汚濁防止法施行令（昭和46年政令第188号。以下「政令」という。）別表第1第37号口 分離施設 | |
| 特定施設の能力 | 1日当たり180トン処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手後11か月 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成後直ちに | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度（水素指数） | 通常 4～5 最大 4～5 |
| | 化学的酸素要求量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 44,000 最大 60,000 |

| | | |
|------------------------|------------------------|----------------------|
| 浮遊物質量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 | 10 |
| | 最大 | 20 |
| | 窒素含有量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 6,700 最大 8,000 |
| りん含有量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 | 0.01 |
| | 最大 | 0.01 |
| 汚水等の1日当たりの量（単位 立方メートル） | 通常 | 5 |
| | 最大 | 6 |

備考 汚水等は、液中燃焼設備（6CT）で処理する。

(2) T - 3402（分離塔）

| | | |
|------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 特定施設の種類 | 政令別表第1第37号口 分離施設 | |
| 特定施設の能力 | 1日当たり147トン処理 | |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手後11か月 | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成後直ちに | |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 | |
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度（水素指数） | 通常 5～7 最大 5～7 |
| | 化学的酸素要求量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 800,000 最大 900,000 |
| | 浮遊物質量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 15 最大 20 |
| 窒素含有量（単位1リットルにつきミリグラム） | 通常 | 0.1 |
| | 最大 | 0.1 |

| | | | |
|----------------------------|---|----|------|
| | りん含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 0.01 |
| | | 最大 | 0.01 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | | 通常 | 1 |
| | | 最大 | 2 |

備考 汚水等は、液中燃焼設備(6CT)で処理する。

(3) D - 3406 (分離ドラム)

| | | | |
|---|--|------|--------|
| 特 定 施 設 の 種 類 | 政令別表第1第37号口 分離施設 | | |
| 特 定 施 設 の 能 力 | 1日当たり360トン処理 | | |
| 工 事 の 着 手 予 定 年 月 日 | 許可後直ちに | | |
| 工 事 の 完 成 予 定 年 月 日 | 着手後11か月 | | |
| 使 用 開 始 の 予 定 年 月 日 | 完成後直ちに | | |
| 特 定 施 設 の 使 用 時 間 間 隔 | 連 続 | | |
| 特 定 施 設 の 1 日 当 た り の 使 用 時 間 | 24時間 | | |
| 特 定 施 設 の 使 用 の 季 節 的 変 動 の 概 要 | な し | | |
| 特 定 施 設 か ら 排 出 さ れ る 汚 水 等 の 汚 染 状 態 の 値 | 水素イオン 濃度(水素 指数) | 通常 | 6~7 |
| | | 最大 | 4~8 |
| | 化学的酸素 要求量(単 位 1リッ トルにつき ミリグラム) | 通常 | 33,000 |
| | | 最大 | 40,000 |
| | 浮遊物質 量(単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 10 |
| | 最大 | 60 | |
| 窒素含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 70 | |
| | 最大 | 100 | |
| りん含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 0.01 | |
| | 最大 | 0.01 | |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | | 通常 | 9 |
| | | 最大 | 10 |

備考 汚水等は、液中燃焼設備(6CT)で処理する。

(4) T - 5202 (除害塔)

| | | | |
|-----------------------|---------------------------|--|--|
| 特 定 施 設 の 種 類 | 政令別表第1第37号タ 廃ガス洗浄施設 | | |
| 特 定 施 設 の 能 力 | 1時間当たり150ノルマル立方メートル 処理 | | |
| 工 事 の 着 手 予 定 年 月 日 | 許可後直ちに | | |
| 工 事 の 完 成 予 定 年 月 日 | 着手後11か月 | | |
| 使 用 開 始 の 予 定 年 月 日 | 完成後直ちに | | |
| 特 定 施 設 の 使 用 時 間 間 隔 | 連 続 | | |

| | | | |
|---|--|--------|--------|
| 特 定 施 設 の 1 日 当 た り の 使 用 時 間 | | 24時間 | |
| 特 定 施 設 の 使 用 の 季 節 的 変 動 の 概 要 | | な し | |
| 特 定 施 設 か ら 排 出 さ れ る 汚 水 等 の 汚 染 状 態 の 値 | 水素イオン 濃度(水素 指数) | 通常 | 10~12 |
| | | 最大 | 10~12 |
| | 化学的酸素 要求量(単 位 1リッ トルにつき ミリグラム) | 通常 | 43,000 |
| | | 最大 | 65,000 |
| | 浮遊物質 量(単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 10 |
| | 最大 | 20 | |
| 窒素含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 37,000 | |
| | 最大 | 56,000 | |
| りん含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 0.01 | |
| | 最大 | 0.01 | |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | | 通常 | 8 |
| | | 最大 | 10 |

備考 汚水等は、液中燃焼設備(6CT)で処理する。

(5) T K - 5402 (分離施設)

| | | | |
|---|--|---------|--------|
| 特 定 施 設 の 種 類 | 政令別表第1第37号口 分離施設 | | |
| 特 定 施 設 の 能 力 | 1日当たり146トン処理 | | |
| 工 事 の 着 手 予 定 年 月 日 | 許可後直ちに | | |
| 工 事 の 完 成 予 定 年 月 日 | 着手後11か月 | | |
| 使 用 開 始 の 予 定 年 月 日 | 完成後直ちに | | |
| 特 定 施 設 の 使 用 時 間 間 隔 | 連 続 | | |
| 特 定 施 設 の 1 日 当 た り の 使 用 時 間 | 24時間 | | |
| 特 定 施 設 の 使 用 の 季 節 的 変 動 の 概 要 | な し | | |
| 特 定 施 設 か ら 排 出 さ れ る 汚 水 等 の 汚 染 状 態 の 値 | 水素イオン 濃度(水素 指数) | 通常 | 1~3 |
| | | 最大 | 1~3 |
| | 化学的酸素 要求量(単 位 1リッ トルにつき ミリグラム) | 通常 | 7,000 |
| | | 最大 | 10,000 |
| | 浮遊物質 量(単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 10 |
| | 最大 | 20 | |
| 窒素含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 87,000 | |
| | 最大 | 104,000 | |
| りん含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 0.01 | |
| | 最大 | 0.01 | |

| | |
|----------------------------|----------------|
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 78 最大 80 |
|----------------------------|----------------|

備考 汚水等は、液中燃焼設備(6CT)で処理する。

4 汚水等の処理施設に関する事項

(1) 液中燃焼設備(6CT)

| | | | |
|--|------------------------------|------------------------|------------------------|
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに | | |
| 工事の完成予定年月日 | 着手後11か月 | | |
| 使用開始の予定年月日 | 完成後直ちに | | |
| 処理施設の種類 | 化学処理 | | |
| 処理施設の型式 | 液中燃焼方式 | | |
| 処理施設の構造 | 外筒鋼板内部耐火煉瓦製 | | |
| 処理施設の主要寸法 | 内径 3.85メートル 高さ 21.091メートル | | |
| 処理施設の能力 | 1日当たり264トン処理 | | |
| 汚水等の処理の方式 | 液中燃焼方式 | | |
| 処理施設の使用時間間隔 | 連続 | | |
| 処理施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | |
| 処理施設の使用の季節的変動の概要 | なし | | |
| 処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 汚染状態の 値 | 項 目 | 処 理 前 | 処 理 後 |
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 7~10 最大 7~11 | 通常 8~9.5 最大 8~9.5 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 22,000 最大 35,000 | 通常 20 最大 20 |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 20 最大 30 | 通常 120 最大 120 |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 63,000 最大 73,000 | 通常 20 最大 20 |
| | りん含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.01 最大 0.01 | 通常 0.01未満 最大 0.01未満 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | | 通常 242 最大 270 | 通常 920 最大 920 |

備考 汚水等は、OBT酸素ばっ気式活性汚泥処理施設で処理する。
汚水等の処理施設である液中燃焼設備(4CT)と切替運転をする。

(2) OBT酸素ばっ気式活性汚泥処理施設

| | |
|-----------|-------------|
| 設 置 年 月 日 | 平成21年 1月31日 |
|-----------|-------------|

| | | | |
|--|----------------------------------|--------------------------|----------------------|
| 処理施設の種類 | 化学処理、生物処理及び物理処理 | | |
| 処理施設の型式 | 酸素ばっ気式活性汚泥処理方式 | | |
| 処理施設の構造 | 鉄筋コンクリート製 | | |
| 処理施設の主要寸法 | 縦 160メートル 横 71メートル 高さ 6.3メートル | | |
| 処理施設の能力 | 1日当たり10,800立方メートル処理 | | |
| 汚水等の処理の方式 | 中和、凝集沈殿及び酸素ばっ気式活性汚泥方式 | | |
| 処理施設の使用時間間隔 | 連続 | | |
| 処理施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | |
| 処理施設の使用の季節的変動の概要 | なし | | |
| 処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 汚染状態の 値 | 項 目 | 処 理 前 | 処 理 後 |
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 8~12 最大 8~12 | 通常 7~8 最大 6.6~8.7 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 904.4 最大 1,162.6 | 通常 191.9 最大 287.7 |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 405.9 最大 881.5 | 通常 31.8 最大 71.4 |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 1,137.8 最大 1,500.2 | 通常 192.7 最大 212.3 |
| | りん含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 15.3 最大 31.9 | 通常 3.0 最大 5.4 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | | 通常 5,440 最大 6,320 | 通常 5,440 最大 6,320 |

5 事業場から排出される汚水等の汚染状態の通常の値及び最大の値並びに汚水等の1日当たりの量

(1) 西総合排水口

| | | |
|------------|----------------------------|--------------------------|
| 汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 6.6~8.7 最大 5.5~8.8 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 15.27 最大 35.0 |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 29.45 最大 69.0 |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 20.22 最大 30.0 |
| | りん含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.56 最大 2.0 |

| | |
|----------------------------|--------------------------|
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 246,447 最大 327,000 |
|----------------------------|--------------------------|

(2) 東総合排水口

| | | |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 6.6~8.7 最大 5.5~8.8 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 9.33 最大 20.0 |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 21.0 最大 60.0 |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 6.0 最大 10.0 |
| | りん含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.5 最大 1.0 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 17,174 最大 33,000 | |

備考 この他に、雨水排水口が34箇所ある。

○愛媛県告示第1340号

次のように瀬戸内海環境保全特別措置法(昭和48年法律第110号。以下「法」という。)第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があった。

なお、法第5条第3項に規定する書面は、愛媛県西条保健所及び新居浜市役所において告示の日から3週間公衆の縦覧に供する。

平成27年11月10日

愛媛県西条保健所長 武方 誠二

1 申請者の名称、住所及びその代表者の氏名

住友化学株式会社
東京都中央区新川二丁目27番1号
代表取締役社長 十倉 雅和

2 事業場の名称及び所在地

住友化学株式会社愛媛工場菊本地区
新居浜市菊本町一丁目10番1号

3 特定施設に関する事項

Z-030

| | |
|-------------|---|
| 特定施設の種類 | 水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第1第27号又 魔カス洗浄施設 |
| 特定施設の能力 | 1分当たり110ノルマル立方メートル処理 |
| 工事の着手予定年月日 | 許可後直ちに |
| 工事の完成予定年月日 | 着手後3カ月 |
| 使用開始の予定年月日 | 完成後直ちに |
| 特定施設の使用時間間隔 | 連続 |

| | | | |
|----------------------------|----------------------------|------------------------|--|
| 特定施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | |
| 特定施設の使用の季節的変動の概要 | なし | | |
| 特定施設から排出される汚水等の汚染状態の値 | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 12~13.5 最大 12~14 | |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1未満 最大 0.1未満 | |
| | 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 100 最大 230 | |
| | 窒素含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1未満 最大 0.1未満 | |
| | りん含有量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 0.1未満 最大 0.1未満 | |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 2.3 最大 4.3 | | |

備考 汚水等は、還元処理施設、No.3総合排水処理施設にて処理する。

4 汚水等の処理施設に関する事項

(1) 還元処理施設

| | | | |
|----------------------------|---|--------------------------|--------------------------|
| 設置年月日 | 昭和48年11月10日 | | |
| 処理施設の種類 | 化学処理 | | |
| 処理施設の型式 | 還元及び中和処理 | | |
| 処理施設の構造 | 鉄筋コンクリート製 | | |
| 処理施設の主要寸法 | 縦 15.0メートル 横 5.1メートル 高さ 1.7メートル × 2基 | | |
| 処理施設の能力 | 1日当たり750立方メートル処理 | | |
| 汚水等の処理の方式 | 還元及び中和方式 | | |
| 処理施設の使用時間間隔 | 連続 | | |
| 処理施設の1日当たりの使用時間 | 24時間 | | |
| 処理施設の使用の季節的変動の概要 | なし | | |
| 処理施設による処理前及び処理後の汚水等の汚染状態の値 | 項目 | 処理前 | 処理後 |
| | 水素イオン濃度(水素指数) | 通常 7.0~7.5 最大 6.5~7.5 | 通常 6.5~7.0 最大 6.0~7.0 |
| | 化学的酸素要求量(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 670 最大 799 | 通常 313 最大 402 |
| 浮遊物質(単位 1リットルにつきミリグラム) | 通常 31 最大 52 | 通常 31 最大 52 | |

| | | | | |
|---|----|-------|----|-------|
| 窒素含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 2 | 通常 | 2 |
| | 最大 | 10 | 最大 | 10 |
| りん含有量 (単位 1 リットルに つきミリグ ラム) | 通常 | 1 | 通常 | 1 |
| | 最大 | 7 | 最大 | 7 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 | 223.3 | 通常 | 223.3 |
| | 最大 | 336.3 | 最大 | 336.3 |

備考 汚水等は、No.3 総合排水処理施設で処理する。

(2) No.3 総合排水処理施設

| | | | |
|--|--|--------------------------|--------------------------|
| 設 置 年 月 日 | 昭和49年6月1日 | | |
| 処 理 施 設 の 種 類 | 物理処理及び化学処理 | | |
| 処 理 施 設 の 型 式 | 沈降分離処理及び中和処理 | | |
| 処 理 施 設 の 構 造 | 土堰堤型式 | | |
| 処 理 施 設 の 主 要 寸 法 | 沈降槽 縦 95.0メートル 横 60.0メートル 高さ 2.0メートル 中和槽 縦 48.0メートル 横 60.0メートル 高さ 2.2メートル | | |
| 処 理 施 設 の 能 力 | 1日当たり50,000立方メートル処理 | | |
| 汚 水 等 の 処 理 の 方 式 | 沈降処理及び中和処理方式 | | |
| 処 理 施 設 の 使 用 時 間 間 隔 | 連 続 | | |
| 処 理 施 設 の 1 日 当 た り の 使 用 時 間 | 24時間 | | |
| 処 理 施 設 の 使 用 の 季 節 的 変 動 の 概 要 | な し | | |
| 処理施設に よる処理前 及び処理後 の汚水等の 汚染状態の 値 | 項 目 | 処 理 前 | 処 理 後 |
| | 水素イオン 濃度(水素 指数) | 通常 7.0~8.0 最大 7.0~8.5 | 通常 7.0~8.0 最大 7.0~8.5 |
| | 化学的酸素 要求量(単 位 1リッ トルにつ きミリグ ラム) | 通常 13.0 最大 19.5 | 通常 13.0 最大 19.5 |
| | 浮遊物質量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 33.0 最大 500 | 通常 33.0 最大 47.0 |
| | 窒素含有量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 1.9 最大 10.0 | 通常 1.9 最大 10.0 |
| | りん含有量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 1.0 最大 7.0 | 通常 1.0 最大 7.0 |

| | | |
|----------------------------|------------------------|------------------------|
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 36,902 最大 40,748 | 通常 36,902 最大 40,748 |
|----------------------------|------------------------|------------------------|

5 事業場から排出される汚水等の汚染状態の通常の値及び最大の値並びに汚水等の1日当たりの量

(1) No.1 排水口

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 汚水等の汚 染状態の値 | 水素イオン 濃度(水素 指数) | 通常 7.0~7.5 最大 6.5~8.0 |
| | 化学的酸素 要求量(単 位 1リッ トルにつ きミリグ ラム) | 通常 11.2 最大 20.0 |
| | 浮遊物質量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 15.0 最大 27.0 |
| | 窒素含有量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 4.0 最大 15.0 |
| | りん含有量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 1.0 最大 5.0 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 20,474 最大 27,557 | |

(2) No.3 排水口

| | | |
|----------------------------|--|--------------------------|
| 汚水等の汚 染状態の値 | 水素イオン 濃度(水素 指数) | 通常 7.0~8.0 最大 7.0~8.5 |
| | 化学的酸素 要求量(単 位 1リッ トルにつ きミリグ ラム) | 通常 13.0 最大 19.5 |
| | 浮遊物質量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 33.0 最大 47.0 |
| | 窒素含有量 (単位 1 リットル につきミ リグラム) | 通常 1.9 最大 10.0 |
| 汚水等の1日当たりの量 (単位 立方メートル) | 通常 36,902 最大 40,748 | |

備考 この他に、雨水排水口が18箇所ある。

○愛媛県告示第1341号

道路法(昭和27年法律第180号)第18条第1項の規定に基づき、道路の区域を次のように変更する。

その関係図面は、東予地方局今治土木事務所において告示の日から2週間一般の縦覧に供する。

平成27年11月10日

愛媛県知事 中 村 時 広

| 道路の種類 | 路線名 | 区 間 | 旧・新 別 | 敷 地 の 幅 員 | 延 長 | 備 考 |
|-------|-------|--------------------------------------|----------|------------------|-----------------|-----|
| 県 道 | 大島環状線 | 今治市宮窪町余所国2087番6地先から 同町余所国2080番8まで | 旧 | メートル 2.6~15.7 | キロメートル 0.179 | |
| | | | 新 | 8.8~17.5 | 0.179 | |

○愛媛県告示第1342号

建築基準法（昭和25年法律第201号）第42条第1項第5号の規定により、次のとおり指定道路を指定した。

平成27年11月10日

愛媛県中予地方局長 藤 井 晃 一

1 指定道路の種類

建築基準法第42条第1項第5号

2 指定年月日

平成27年10月30日

3 指定道路の位置

伊予郡松前町大字筒井字唐新開1031番3及び1031番3地先里道

4 指定道路の延長及び幅員

(1) 延長 26.63メートル

(2) 幅員 4.00メートル

○愛媛県告示第1343号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第1項の規定に基づき、道路の区域を次のように変更する。

その関係図面は、南予地方局大洲土木事務所において告示の日から2週間一般の縦覧に供する。

平成27年11月10日

愛媛県知事 中 村 時 広

| 道路の種類 | 路線名 | 区 間 | 旧・新 別 | 敷 地 の 幅 員 | 延 長 | 備 考 |
|-------|---------|--------------------------------|----------|-----------------|-----------------|-----|
| 県 道 | 小田河辺大洲線 | 喜多郡内子町南山745番3から 同町南山746番2まで | 旧 | メートル 5.0~6.2 | キロメートル 0.025 | |
| | | | 新 | 5.0~9.1 | 0.025 | |
| " | " | 喜多郡内子町南山907番2から 同町南山909番2まで | 旧 | 7.5~11.2 | 0.040 | |
| | | | 新 | 9.6~18.6 | 0.040 | |

○愛媛県告示第1344号

道路法（昭和27年法律第180号）第18条第2項の規定に基づき、道路の供用を次のように開始する。

その関係図面は、南予地方局大洲土木事務所において告示の日から2週間一般の縦覧に供する。

平成27年11月10日

愛媛県知事 中 村 時 広

| 道路の種類 | 路線名 | 供 用 開 始 の 区 間 | 供用開始の日 |
|-------|---------|--------------------------------|-------------|
| 県 道 | 小田河辺大洲線 | 喜多郡内子町南山745番3から 同町南山746番2まで | 平成27年11月10日 |
| " | " | 喜多郡内子町南山907番2から 同町南山909番2まで | " |